

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち  
スマート林業・DX推進総合対策

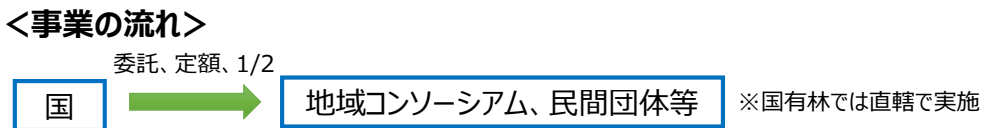
令和8年度予算概算決定額 263百万円（前年度 217百万円）  
〔令和7年度補正予算額（林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部）700百万円〕

＜対策のポイント＞  
林業の安全性、生産性及び収益性の飛躍的な向上を図るため、スマート林業技術の導入環境整備、スマート林業機械・機器等の開発・実証、地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

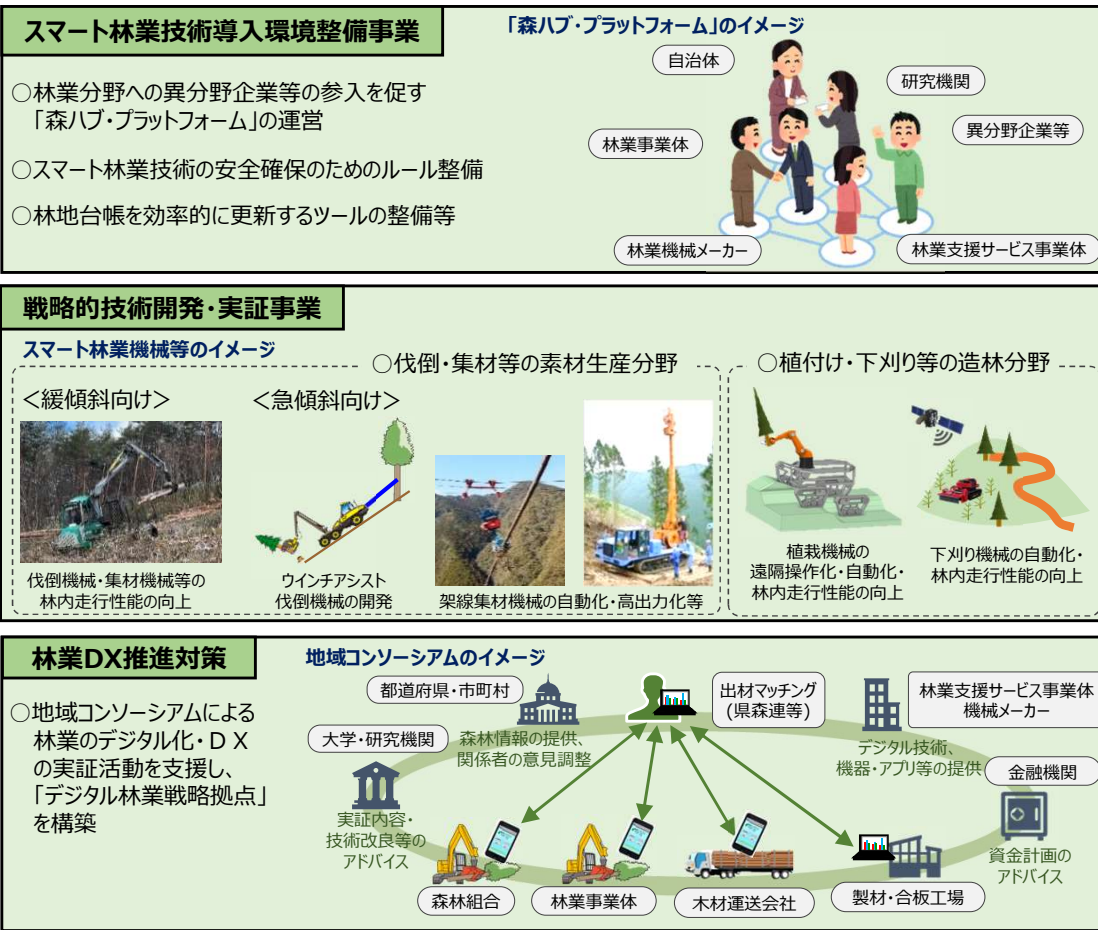
＜事業目標＞  
デジタル技術を地域一体でフル活用する取組の普及（デジタル林業戦略拠点が1つ以上ある都道府県数25〔令和12年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. スマート林業技術導入環境整備事業
- ① 「森ハブ・プラットフォーム」運営支援  
林業分野への新技術の導入を加速するための全国規模のプラットフォームの運営を支援します。
- ② スマート林業技術の安全確保のためのルール整備  
スマート林業技術の安全確保のため、ガイドラインの改定内容の検討、人検知機能等の予防安全機能に関する検討等を実施します。
- ③ ICT活用基盤データ整備事業  
デジタル技術を活用して林地台帳を効率的に更新するツールの整備等を実施します。
2. 戦略的技術開発・実証事業  
伐倒・集材等の素材生産や造林作業のスマート化に向けた林業機械・機器等の開発・実証を支援します。
3. 林業DX推進対策  
地域一体で、木材の生産から流通に至る林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。



＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課（03-3501-5025）